

2016年 ヨーロッパ旅行記(2)

大学時代の山仲間6人と、憧れのスイスを訪れ、ヨーロッパアルプスの雄大な景色とトレッキングを楽しみました。

旅行期間 2016/07/24 - 2016/08/04 寄稿:西村静雄



7月24日から8月4日迄、憧れのスイス旅行を大学時代の山仲間6人でツアーに参加しました。参加動機は、勿論待望のヨーロッパアルプスを身近で見ることです。

セントレアから羽田に行き、そこで合流して、いざドイツのミュンヘンへANAで向かいましたが、11時間のフライトも、ビデオ番組に日本語バージョンが多くあり、退屈しませんでした。

ミュンヘンは、1週間前に銃撃戦があった場所で不安でしたが、夕方ホテルに着くなり、すぐ近くのオープンテラスの居酒屋でミュンヘンビールを頂きました。美味しかった！

翌日、標高1800mのスイスのサンモリッツに入り、世界遺産のレーテッシュ鉄道ベルニナ線に乗りました。森林限界を超える高山鉄道で景色も良かったです。



帰りにディアボレッツァ展望台（標高2978m）にケーブルカーで行き、ホットチョコレートを頂きながら氷河を眺め、ゆったりとした時間を過ごしました。



そして翌日は、世界一遅い氷河特急に5時間乗り、シャトル電車に乗換え、いよいよマッターホルンの聖地ツェルマットに入りました。ここは特に日本人が多く来ていて夕日に映るマッターホルンを見ました。



氷河特急



夕日に映えるマッターホルン

5日目の朝は快晴で、朝日に映えるマッターホルン（巻頭写真）も素晴らしかった。登山鉄道でゴルナーグラート展望台（標高3089m）に行き、モンテローザの13kmの氷河を見ました。



ゴルナーグラート展望台



モンテローザの氷河

そして、逆さマッターホルンを見ながら、お花畑を2時間歩きました。



夜はチーズフォンデュを食べ、とても美味しかった。



翌日はフランスのシャモニーに入り、ロープウエーでエギーユ・デュ・ミディ展望台（標高3842m）からモンブランを見ました。展望台ではあいにくの吹雪で何も見えませんでした。



7日目はアイガーの麓の町グリンデルワルトからユングフラウ鉄道でユングフラウヨッホ展望台（標高3454m）に行きました。麓は小雨で不安でしたが、展望台では偶然10分程度だけ晴れ渡り、ユングフラウ、メンヒ、アイガー がよく見えました。



深さ900mの氷河も見ました。氷河の中をくり抜いた通路は未体験ゾーンで満足度が高かった。ここでも1時間程度のトレッキングをし、この時期しか見られないお花畑も見ました。



ベルン、ルツェルン、チューリッヒを巡り帰国の途に着きました。楽しい添乗員のお蔭で39名の参加者も大満足でした。

二つの旅行とも、携帯のWiFiのお蔭でリアルタイムで日本の情報が入手出来、遠い異国に来ている感は全くありませんでした。